



第34回近畿高等学校バスケットボール新人大会

個人トータル表

女子

令和6年2月17日 15:50 開始

準々決勝

ジェイテクトアリーナ奈良 B

明浄学院 48
(大阪)

9	1st	25
8	2nd	19
7	3rd	16
24	4th	19

79 ◎ 京都両洋
(京都)

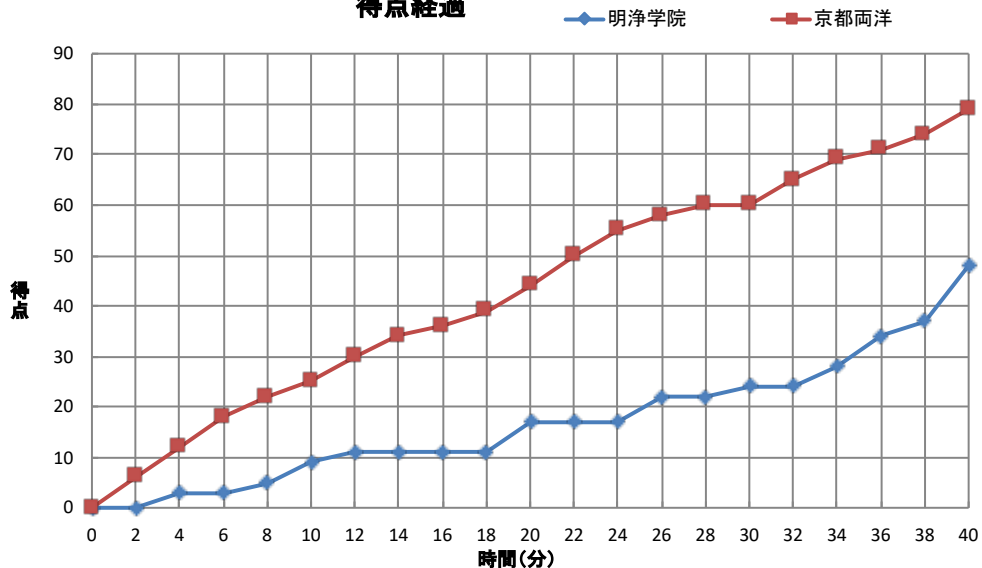
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
1	藤井 日葵	-	-	-	-	-	1	ユース カオサワ ボルツラフェ	2	0	1	0	0
* 10	藤井 樹果	20	1	8	1	2	* 2	杉山 心月	8	2	1	0	0
* 13	北川 真純	10	2	2	0	0	3	森口 笑来美	5	1	1	0	0
14	後藤 江莉加	-	-	-	-	-	5	高原 綾乙	3	1	0	0	2
17	岩本 凛	0	0	0	0	0	* 7	木谷 夢菜	11	3	1	0	0
20	神吉 琉里愛	-	-	-	-	-	* 8	谷口 心綾	6	0	3	0	0
21	松園 千寛	3	1	0	0	4	* 9	岡田 彩葉	10	2	2	0	0
24	中西 姫依	-	-	-	-	-	13	細見 夏希	0	0	0	0	0
26	坂本 湊	-	-	-	-	-	* 14	ピクトリア ウビ オコイ	13	0	6	1	0
* 32	澤田 果歩	2	0	1	0	2	18	中野 有佳子	7	0	3	1	0
33	西口 彩花	0	0	0	0	0	24	中島 苺	5	1	1	0	1
* 39	中島 凛乃	3	1	0	0	3	26	藤田 瑞木	0	0	0	0	1
52	麻野 葵	-	-	-	-	-	30	古川 光鈴	2	0	1	0	1
* 55	上田 楓花	10	0	4	2	0	69	廣浦 杏	2	0	1	0	0
57	吉川 陽菜	-	-	-	-	-	77	林 英美	5	0	2	1	3
コーチ	天貴 涼太						コーチ	吉田 聡					
Aコーチ	池田 樹広						Aコーチ	甲良 泰明					
合計		48	5	15	3	11	合計		79	10	23	3	8

クルーチーフ: 渡邊 浩二

1stアンパイア: 森本 真樹

2ndアンパイア: 中村 匠吾

得点経過



TO	1・2Q	3・4Q	OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	5:47	12:19	32:56	:	:	:
TeamB	:	:	:	:	:	:

〔戦評〕

第1Q

両チームハーフコートマンツーマンでゲーム開始。京都両洋#14オコイのゴール下シュートが先制点となる京都両洋は、激しいディフェンスから相手のミスを誘い、速攻で得点を重ねる。一方、明浄は#39中島を中心に果敢に攻めるも得点にならず流れを掴むことができない時間帯が続くがディフェンスで粘りを見せ、#10藤井の連続シュートが決まるも京都両洋のオコイ、#8谷口のインサイドプレーを中心に点差を広げ、9対25で京都両洋がリードし、第1Q終了。

第2Q

明浄#55上田の得点で始まり、流れを掴みかけたが、京都両洋#9岡田のドライブインや強度の落ちないディフェンスから流れを渡さない。一方の明浄は、インサイドに対するディフェンスの強度を上げ、京都両洋のペイントエリアでのプレーをさせない。藤井のドライブで得点するも、京都両洋の岡田、#69廣浦のドライブイン、#77林のリバウンドシュートで得点を重ね、17対44で京都両洋がリードを広げ前半終了。

第3Q

開始から明浄はインサイドに対する激しいディフェンスから京都両洋のミスを誘う。両チーム得点が動かない立ち上がりとなったが、#7木谷、#2杉山の3連続3Pシュートが決まり、得点が動き出す。明浄は、点差を広げられるもボールへの執念からオフェンスの回数を増やし、#32澤田のドライブイン、#13北川の3Pシュートが決まる。ドライブインやリバウンドシュートを確実に決め続ける京都両洋が24対60のリードを保ち、第3Q終了。

第4Q

明浄は藤井、北川、上田が攻守にわたってチームを牽引するプレーを見せ奮闘するも、リードを守り続けた京都両洋は激しいディフェンスからリバウンドを制し、48対79で準決勝へと駒を進めた。

戦評: 荒木 真由美

記録: 法隆寺国際高校